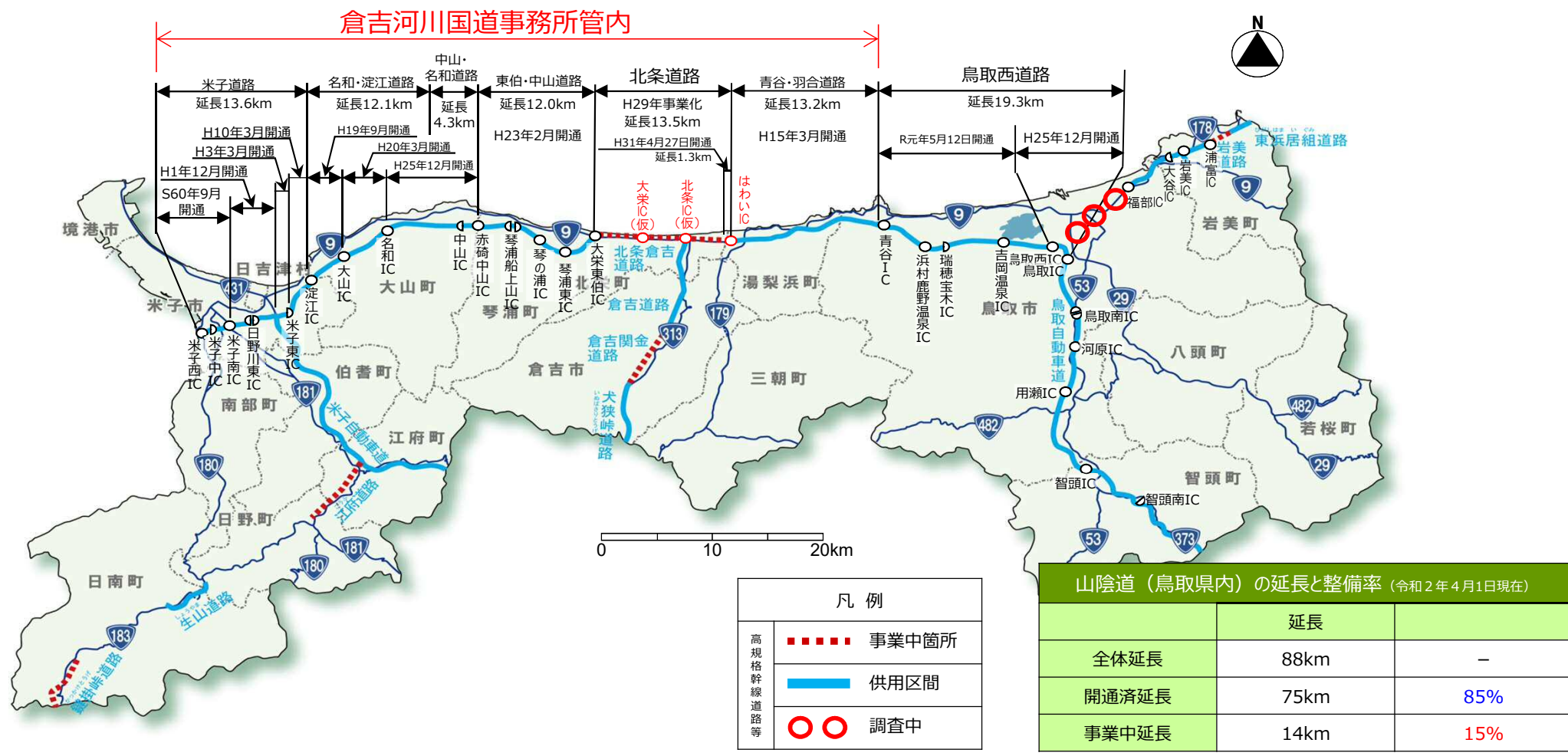


4-1 道づくりの取り組み

■山陰道の整備（広域的な交流・連携の促進）

- 山陰道は、鳥取県から山口県に至る約380kmの高速道路。
- この道路は、鳥取・島根・山口3県の主要都市を東西に結び、移動時間の短縮や、空港・港湾へのアクセスの強化を図ることにより、各地域間の交流・連携の強化及び推進、山陰地方の産業・経済の発展や観光振興を目的として整備を進めている。
- また、災害に強い国づくりを推進し、更に活力ある地域社会を形成するために、地域の自立的発展を支援する視点からも重要な路線。

■鳥取県内の山陰道整備状況



4-2 山陰道の整備

■北条道路の整備

2021(R3)年度事業費：4,367百万円【事業推進】

- 北条道路は、鳥取県東伯郡湯梨浜町はわい長瀬から東伯郡琴浦町槻下を結ぶ延長13.5kmの自動車専用道路で、鳥取県内最後の山陰道整備区間として2017(平成29)年度に事業着手。
- 2021(令和3)年度は、用地買収、改良工事、橋梁上下部工事等を推進。



■期待される整備効果

- ◆ 交通の適正な機能分担による安全性の向上
 - 通過交通と生活交通が分離され、安全で円滑な走行環境が形成される。
- ◆ 観光地の活性化・企業進出の促進
 - 観光周遊ルートが拡大し、鳥取県中部への観光客数の増大が期待される。
 - 時間短縮、定時性確保などにより、新たな企業誘致の促進と雇用の確保が期待される。

【鳥取県の観光・企業活動の変化 (H29/H18)】
高速道路を利用した交流ルート



(出典) 鳥取県観光入込動態調査 ※西部に境港周辺は含まない
(出典) 鳥取県商工労働部、立地戦略課のヒアリング調査



▲写真① 「道の駅」北条公園より松江市方面を望む

4-3 山陰道の整備

■ 米子道路の整備

2021(R3)年度事業費：571百万円【事業推進】

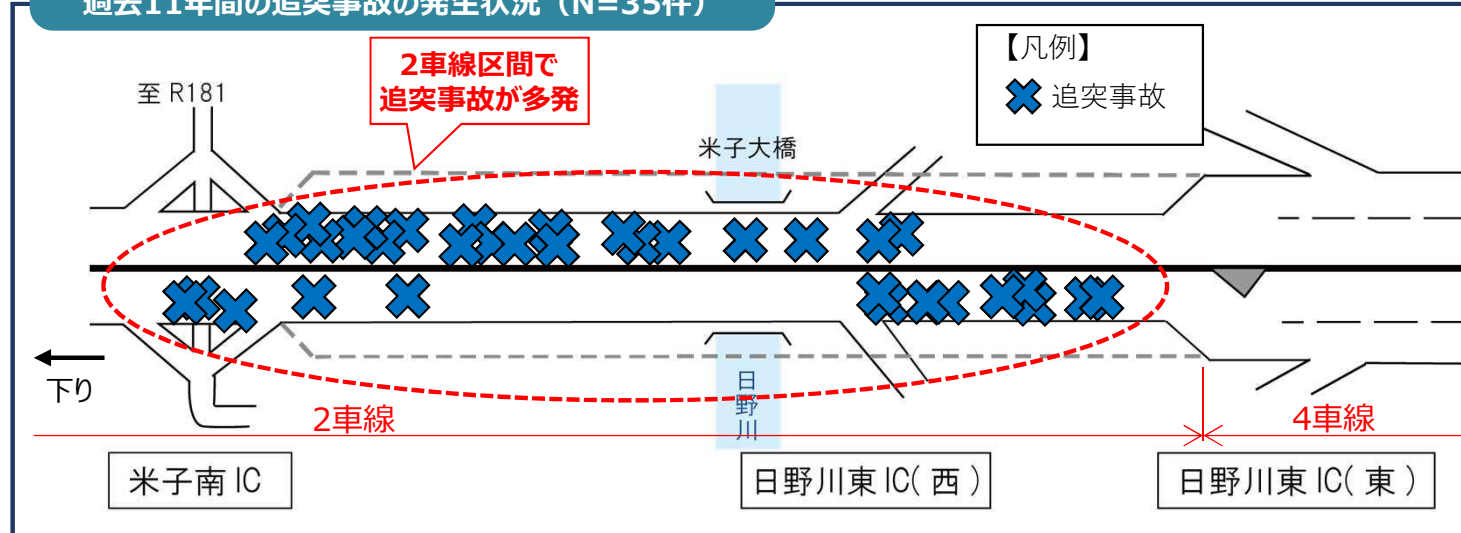
- 山陰道 米子道路は、西伯郡大山町及び米子市内の交通渋滞の緩和及び交通安全の確保を目的とした延長14.2kmの自動車専用道路。
- 山陰道 米子道路の日野川東IC～米子南ICでは、渋滞による追突事故が集中的に発生しており、交通阻害箇所の走行性、安全性の向上を図るため、付加車線を設置する。
- 2021(令和3)年度は、橋梁工事等を推進。

■ 2021(令和3)年度事業予定箇所



過去11年間の追突事故の発生状況 (N=35件)

資料：交通事故総合データベース (平成18年～平成28年)



4-4 安全・安心な暮らしを支える

■湯梨浜・北栄地区事故対策事業

2021(R3)年度事業費：335百万円【事業推進】

- 国道9号の湯梨浜から北栄間は、一般道の長い直線が続く区間で、スピード超過しやすい区間となっており、長瀬浜入口交差点、新川・浜入口交差点、新旧国道313号との交差点で、信号停止車両への追突や右折車両への追突や右折車両との正面衝突が多く発生し、死亡など重大事故が発生しており、本事業はこれら2区間の交差点立体化による事故対策を行い、事故削減を図るものである。
- 2021(令和3)年度は、北栄地区の橋梁上下部工事等を推進。



北栄地区の状況 (写真①)



(撮影：2017年11月28日)

北栄地区の状況 (写真②)



(撮影：2021年3月3日)

湯梨浜地区の状況 (写真③)



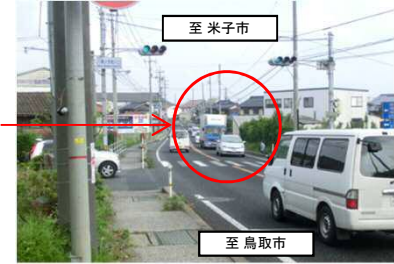
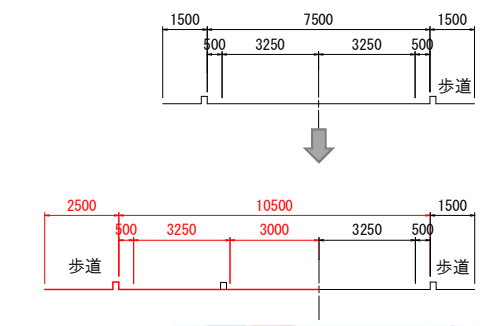
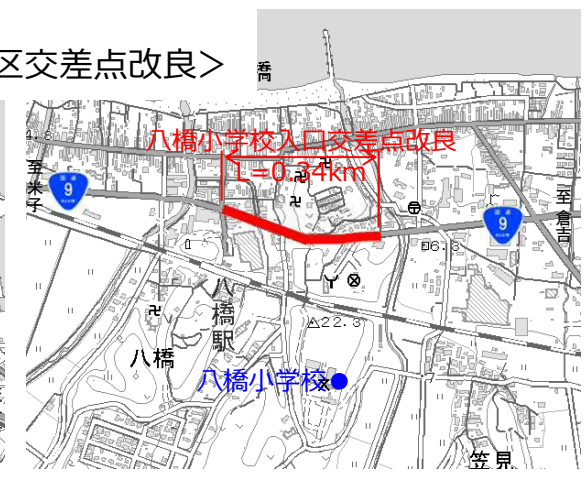
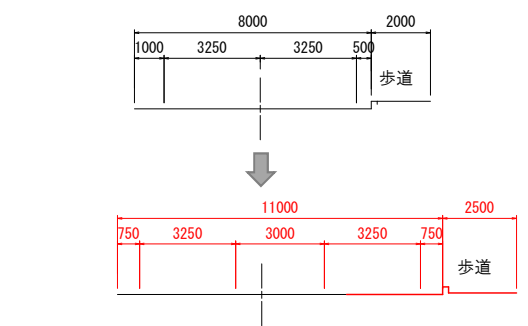
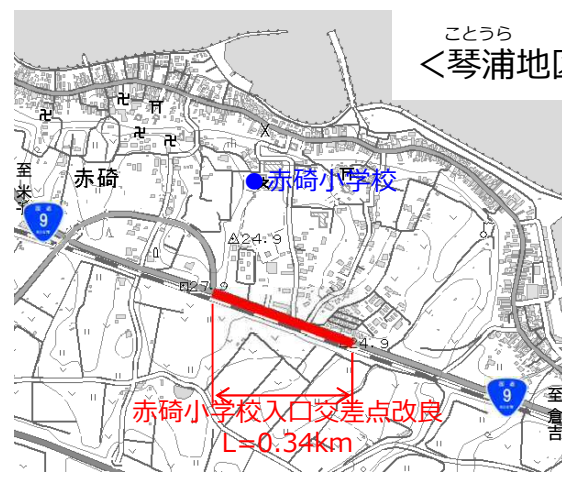
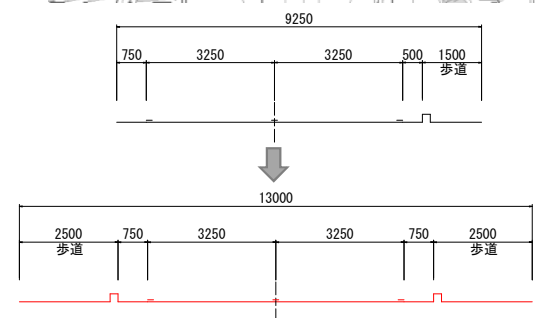
(撮影：平成31年4月27日)

4-5 安全・安心な暮らしを支える

■交差点改良事業／歩道整備事業

2021(R3)年度事業費：210百万円【事業推進】

- 一般国道9号に右折車線が無いいため右折待ち車両による直進車両の進行阻害や追突事故が発生している箇所、また、通学路に指定されているものの、歩道幅員が狭小であるため非常に危険な状況となっている箇所に、右折車線新設や歩道整備を行い、安全・安心な道路空間の確保を行う。
- 2021(令和3)年度は、調査設計、用地買収、工事を推進。



右折待ち車両による進行阻害

4-6 安全・安心な暮らしを支える

2021(R3)年度事業費：159百万円【事業推進】

■米子電線共同溝事業

- 米子電線共同溝は、電線共同溝を整備し無電柱化することで、安全で快適な歩行空間の確保並びに震災時における緊急輸送道路の確保を図るとともに、良好な都市景観の形成に向けたまちづくりの支援を目的とした事業である。
- 2021(令和3)年度は、調査設計、関係機関協議、工事を推進。

■位置図



出典：国土地理院「地理院地図(電子国土Web)」

■期待される整備効果

道路上から電柱がなくなることにより、安全で快適な歩行空間の確保が図られ、震災時の電柱倒壊による通行障害の危険性がなくなるため、災害時にも道路の機能が確保される。

また、電線がなくなることにより、良好な都市景観の形成が期待される。

《整備の必要性(イメージ写真)》

- 道路上に設置されている電柱は、災害時の倒壊により道路を閉塞させるおそれがあるほか、歩行者等の通行や良好な都市景観の形成の妨げとなっています。



<電柱の倒壊による道路閉塞の事例>

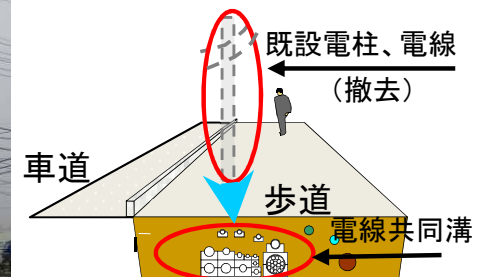


<歩行の支障となる電柱の事例>

【現況写真】



【イメージ図】



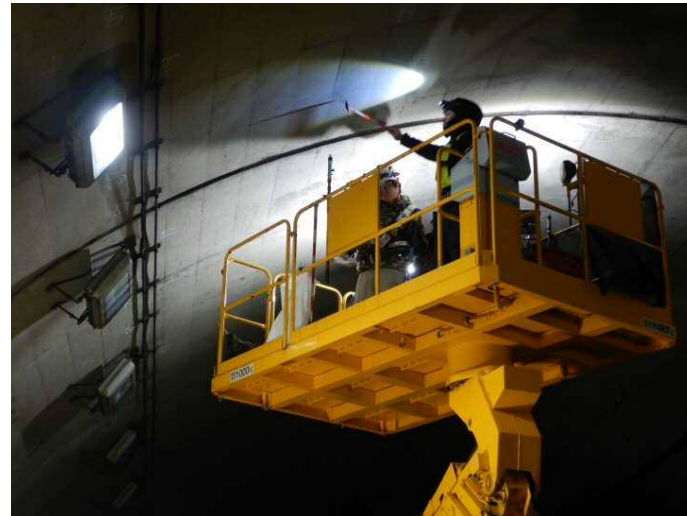
4-7 老朽化対策

■ 橋梁補修など

- 定期点検により橋梁、トンネルの状態を把握し、早期発見・早期補修の予防保全を計画的に実施し、安全性・信頼性の確保と橋梁のライフサイクルコストの縮減を図る。
- 2021(令和3)年度は、新天神橋、日置川橋などで橋梁補修工事を実施予定。



▲ 橋梁点検実施状況



▲ トンネル点検実施状況



▲ 橋梁補修工事予定 (日置川橋)



▲ 橋梁点検講習会 (自治体支援) 実施状況 ▲



4-9 道路管理

■ 道路管理のための災害対応

- 倉吉河川国道事務所では、強風、地震、豪雨、豪雪などの災害が発生、または発生する恐れがある場合において、情報収集や連絡体制などの初動体制を速やかに行い、災害対応を行っています。
- 冬季には除雪グレーダやロータリー除雪車などによる道路の除雪、路面凍結防止剤の薬剤散布などを行い、立ち往生車両の発生を防止します。
- また、必要に応じて通行止め規制など迅速な対応を行い、道路の交通確保を行っています。



▲災害対策：風水害対策訓練

■ 災害発生状況

強風時災害状況



▲山陰道：強風による横転

地震時災害状況



▲国道9号：地震による路面のうねり

豪雨時災害状況



▲山陰道：豪雨による浸水

豪雪時災害状況



▲山陰道：大雪による大型車両の立ち往生



▲山陰道：強風による横転



▲国道9号：地震による舗装の損傷



▲国道9号：水路閉塞による路面冠水



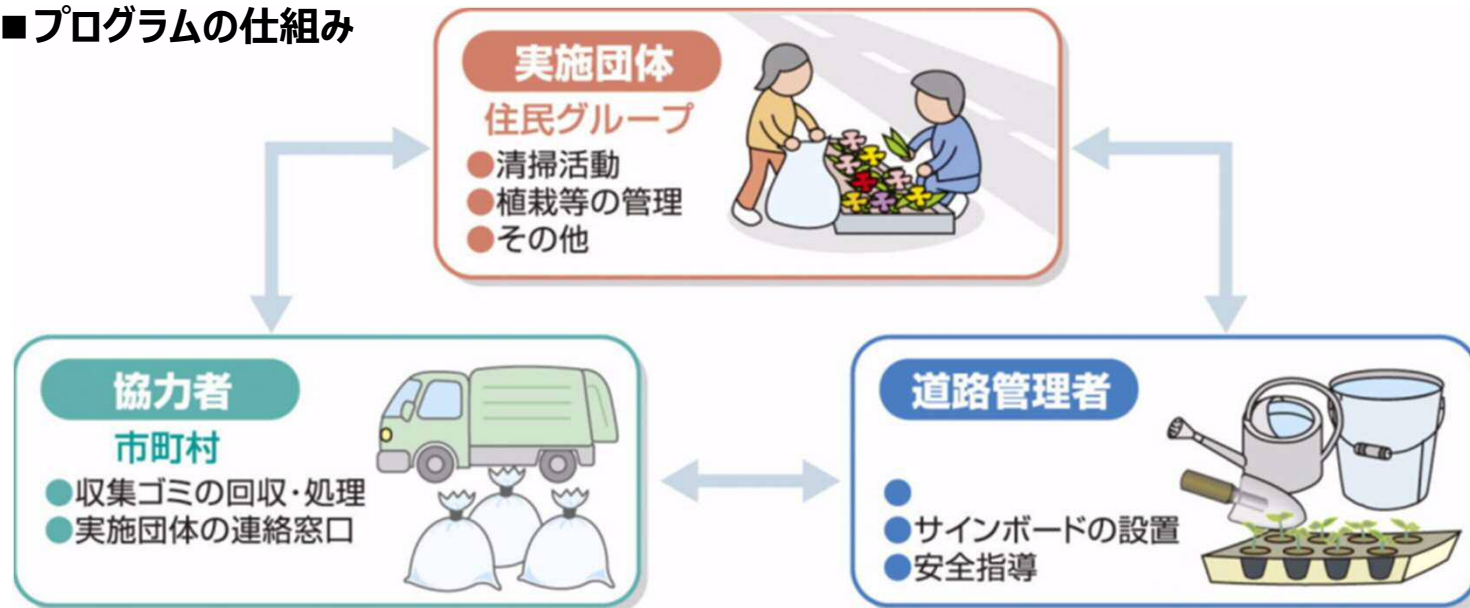
▲国道9号：大雪によるスタック大型車

4-10 地域との協働

■ ボランティア・サポート・プログラム

- 「ボランティア・サポート・プログラム」とは、地域住民・地方公共団体・道路管理者が協力して道路の清掃美化活動を行い、道路への愛着を育てるとともに、道路利用者のマナー向上を啓発することを目的としている。
- 倉吉河川国道事務所管内では、2021(令和3)年3月時点で、35団体が積極的に活動を行っている。

■ プログラムの仕組み



▲ ボランティア・ロードin米子



▲ ボランティア・ロードくずも



■『中部地域の活性化と「道の駅」の活用』について考える（2020(令和2)年度の取り組み）

- 一般市民と県中部地域 1市4町の職員が『中部地域の活性化と「道の駅」の活用法』について検討するワークショップを実施。
- 令和2年度は『道の駅の持続的な情報提供と連携について考えよう！』をテーマに、管理が行き届いていない中部地域の道の駅の情報コーナーにおける持続的で適切な情報提供実施のあり方と、提供情報および道の駅での行事・イベントの駅間連携について検討を実施。（令和3年度も継続検討）
- 例年2～3回のワークショップで議論を行うが、新型コロナ渦を考慮しワークショップは1回のみ実施。道の駅「はわい」で情報コーナーの点検、掲出情報の整理、現状を踏まえた意見集約を行った。

ワークショップの実施状況



情報コーナーを点検し、点検シートに記録



現状に対する意見交換・議論



点検結果を踏まえ、掲出情報の再配置、新規情報掲出

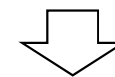
ワークショップ出席者

一般参加者
倉吉市, 三朝町, 湯梨浜町, 琴浦町, 北栄町職員
倉吉河川国道事務所
コーディネーター
地域づくりネットワーク代表 福田京子さん

【主な意見】

- ・ 掲出ポスターが古く色褪せている。
- ・ 中部観光エリアのゾーンに中部エリア以外の情報が多い。
- ・ 市町別に再整理したことで見やすくなった。
- ・ 同じ情報パンフレットが平面にいくつも並べられている。
- ・ 交通、道路、観光（地域情報）以外の情報は道の駅に必要か。
- ・ 限られた情報提供スペースでどの情報を優先的に発信する等、中部エリアの道の駅で共通の運用ルールを決めていく必要がある。
- ・ 期限切れなどのポスター、パンフレット等の管理について、各市町が協力して出来ることはないか。

など



これら意見を踏まえ、対応方法等を継続検討